

平成 21 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 北陸ミサワホーム株式会社
 代表者名 代表取締役社長 高見 幸三
 (コード番号：1763 J A S D A Q)
 問合せ先 代表取締役専務 林 諭高
 (TEL. 076-222-1558)

特別損失の発生及び平成 21 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において、下記のとおり特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成 21 年 2 月 5 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

(1) 減損損失の計上

平成 21 年 3 月期の第 4 四半期連結会計期間において減損の要否の判定を行った結果、市況の悪化に伴い、資産内容の劣化が発生しており、福井市、富山市及び高岡市の事業用資産に加えて、子会社の遊休資産につきましても帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額(1 億 2 百万円)を減損損失として特別損失に計上することといたしました。

(2) 繰延税金資産の回収可能性の見直しによる法人税等調整額の計上

同様に平成 21 年 3 月期の第 4 四半期における今後の住宅業界を取り巻く環境を踏まえ、事業計画を見直し、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、法人税等調整額 83 百万円を計上することといたしました。

2. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 21 年 2 月 5 日公表)	6,200	0	△45	△90
今 回 修 正 予 想 (B)	6,229	52	89	△160
増 減 額 (B - A)	29	52	134	△70
増 減 率 (%)	0.5	—	—	—
前 期 (平成 20 年 3 月期通期)実績	6,422	△4	25	△628

3. 平成21年3月期通期個別業績予想の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年2月5日公表)	5,200	3	△40	△81
今回修正予想(B)	5,261	40	71	△162
増減額(B-A)	61	37	111	△81
増減率(%)	1.2	—	—	—
前期(平成20年3月期)実績	6,000	8	39	△643

4. 修正の理由

平成21年3月期における北陸地区の新設住宅着工戸数は1万9千戸（8.1%減）と厳しい状況が続いております。

このような状況の下、景気の悪化に伴う資産内容の劣化が見られ、将来の収益性をもとに検討を加えた結果、福井支店及び富山支店の事業用資産について減損損失を計上いたしました。

当社は、全社を挙げて建設コストと販売費及び一般管理費の削減に努力してまいりましたが、12月以降は計画していた受注を確保できず、経費削減によっても売上高の減少を補うことはできませんでした。

通期の連結の業績につきましては、一昨年11月より子会社となったミサワホームイング北陸㈱とのシナジー効果がみられず厳しい状況が続きましたが、建設コストと販売費及び一般管理費の削減が出来たため営業利益、経常利益は改善しました。当期利益につきましては特別損失としてたな卸資産評価損58百万円と減損損失1億2百万円を計上したことにより当期純損失の計上となりました。

また、通期の個別の業績につきましても、建設コストの見直しと広告宣伝費をはじめとする販売費及び一般管理費の減少により経費削減はみられましたが、受注の落ち込みを補うには至らず、特別損失としてたな卸資産評価損44百万円と減損損失93百万円を計上したため、予想公表値を下回る結果となりました。

以 上